

西部地域計画

1 地域の概要

- 当管内は群馬県南西部の4市3町2村からなり、すべての市町村の全域または一部が中山間地域となっています。地形的には、烏川、神流川、鎗川、碓氷川などの河川沿いの平坦地域から長野県・埼玉県との県境を構成する山間地域まで地形は変化に富んでいます。
- 当地域では、それぞれの自然環境の特色を活かし、野菜、米麦、果樹、こんにゃくいも、花き、畜産など多彩な農業が展開されています。しかし、地形条件等から大規模化に適さない地域が多く、経営規模は他地域と比較すると小さい状況です。

2 現状及び課題

- 当地域における生産基盤の状況は、降雨量が少なく農業用水源に乏しい地域であったことから、古くから多くの堰、用水路、ため池などの小規模な農業用施設が点在しています。今後、老朽化した施設を計画的に保全し、併せて近年多発している自然災害に対応した豪雨・地震対策を行い、地域の安全安心を確保する必要があります。
- このほか、近年では高齢化等による離農が一層進み、農業用施設の維持管理が難しくなっています。このことから、土地改良区や水利組合などが適正な管理が行われるように組織の体制強化を進めていく必要があります。
- 農地の担い手の確保及び育成や農業の収益性向上を図る観点から、一層の生産基盤整備を進める必要があります。これに併せて、末端水利施設の維持管理や耕作放棄地対策に向けて地域の協働活動を促し、野生鳥獣被害の対策など農地を持続的に利用できる仕組みを作る必要があります。



経年劣化により陥没した隧道（富岡市：甘楽多野用水）



地震により被災した防災重点ため池（藤岡市：大谷池）

3 地域における施策の展開

(1) 農業の収益性向上を図る生産基盤整備

- 下戸塚、笹川沿岸、牛田川除地区（藤岡市）、松義西部地区（富岡市・安中市）、宇田・一ノ宮地区（富岡市）において、区画整理150haを完成させ、担い手へ73haの農地集積を推進します。
- 保美、小林地区（藤岡市）、吉田地区（富岡市）において、区画整理66haを実施し、担い手への農地集積を推進します。
- 碓氷川流域2期地区（安中市）において、土壌汚染対策を推進し、汚染畑の復元と営農条件の改善を行います。
- 波家田地区（藤岡市）において、排水路を完成させ、営農条件の改善を行います。

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
生産基盤整備事業を契機に担い手へ集積する農地面積	36ha	73ha



整備前の農地（藤岡市：牛田川除地区）



整備後の農地

(2) 持続的な農業用水の安定供給

- 神流川用水地区（藤岡市）において、機能保全計画に基づく農業水利施設の長寿命化対策を完成させ、農業用水の安定供給を行います。
- 長野堰地区（高崎市）、藤岡中央地区（藤岡市）において、機能保全計画に基づく農業水利施設の長寿命化対策等を実施し、農業用水の安定供給を行います。
- 小幡地区（甘楽町）において、世界かんがい施設遺産である雄川堰の改修を完成させ、歴史的施設の保全、継承を行います。
- 長野堰地区（高崎市）において、水管理システムの更新を完成させ、農業用水の安定供給を行います。
- 県が管理する南牧頭首工（下仁田町）において、鎚川土地改良区と連携して適切な維持管理と補修整備を実施します。



長寿命化が図られた頭首工（高崎市：長野堰）

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
基幹農業水利施設の長寿命化等対策工事を完成させる地区数	2地区	3地区

(3) 安全安心な農村づくり

- 弁天ため池、天水ため池地区（高崎市）、大谷牛秣地区（藤岡市）において、ため池の豪雨・地震対策工事を完成させ、地域の安全安心を確保します。
- 防災重点ため池（32箇所）のハザードマップの作成及び地域住民への周知を支援し、地域の安全安心を確保します。また、豪雨・地震における詳細調査を支援し、対策が必要とされた防災重点ため池の豪雨・地震対策を推進します。
- 河振地区（甘楽町）、栃久保地区（安中市）、白井地区（上野村）において、地すべり対策及び機能保全を推進します。
- 多胡幹線（高崎市）、竹沼西幹線（藤岡市）において、石綿を使用した農業用管路の撤去を実施し、農業者等の健康被害の防止を推進します。
- 岩井畑地区（安中市）において、土壌汚染対策による排客土を行い、地域の安全安心を確保します。

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
ハザードマップの作成及び豪雨・地震における詳細調査を完了させる防災重点ため池数	9箇所	32箇所



地震対策工事实施中の防災重点ため池（藤岡市：大谷池）



堤体の対策工事状況

(4) 魅力ある農村の構築

- 多面的機能支払交付金を活用した農地や水路等の維持・保全に取り組む地域の協働活動を支援し、3,116haにおいて農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図ります。

数値目標	H30(基準年)	R7(目標年)
農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積	2,668ha	3,116ha



農村環境保全活動の学校連携(高崎市)

4 地域の重点取組

当地域では、地域開発や農業者の減少、経年劣化による維持管理費の増加など農業水利施設を取り巻く状況は、造成時と比較して大きく変化しており、今後もこの傾向は変わらないと思量されます。

また、農業用水需要の変化によって施設規模との乖離が生じ、維持管理の合理化などにも支障を来すことが想定されます。

こうした状況は、多くの農業水利施設で生じていますが、水利再編を視野に入れた対応が求められる箇川水系において、合理的な用水の利活用を実現させるため、今後10年間を見据えた中で、関係団体及び農業者と連携し、農業用水合理化に向けた構想づくりに取り組めます。



関係団体との勉強会